

**令和6年1月定例会議事録**

**令和6年1月16日**

**鹿屋市教育委員会**

○日 時 令和5年1月16日(火)  
15時から17時まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	中 野 健 作
教育長職務代理者	早 川 雅 子
教育委員	東別府 睦
教育委員	遠 矢 達 一
教育委員	浜 田 幸 史

○関係者

教育次長	川 越 太
教育総務課長	隈 元 成 人
学校教育課長	新 屋 公 彦
生涯学習課長	山 口 良 二
教育総務課課長補佐	原 田 竜 哉

○議事日程

- 1 開会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長及び委員の報告
- 4 議事
  - (1) 議案第14号 令和5年度 社会教育功労者・優良社会教育関係団体表彰について
- 5 報告
  - (1) 教育委員の任命について
  - (2) 令和5年12月鹿屋市議会定例会の一般質問について
  - (3) 国立台北教育大学からの実習生受入について
  - (4) 看護専門学校防火・避難訓練実施について
  - (5) 第8回 キッズビジネスタウン®の実施について
  - (6) 令和6年鹿屋市二十歳のつどいの報告について
  - (7) 第76回優良公民館表彰について
- 6 動議の討論等
- 7 その他
- 8 閉会

○議決事項

議案番号	件 名	審議の状況	採決次第
議案第14号	令和5年度 社会教育功労者・優良社会教育関係団体表彰について	特記事項なし	原案可決

○議事要旨

1	開 会
教育長	<p>朝は霜が降りるぐらいに寒くて昼間は暖かい。この季節でも寒暖差による異常気象を感じる。元旦には大地震の発生や、飛行機事故が起こり、辰年の幕開けにしては悲惨な災害や事故が起きている。また、県内の他地区では中学生が自動車事故で現在も意識がなく、油断できない状況であるようだ。私たちも日頃から気を付けるよう気を引き締めなければならない。</p> <p>なお、10日には、盛山文部科学大臣が鹿屋市を訪問され、鹿屋中学校の授業の見学や、給食を摂るなど生徒達と交流し過ごされた。生徒達が大臣との受け答えをしっかりとしており、大臣に「ぜひ、全校生徒にメッセージをください。」といった要望を出すなど、生徒達の活力が凄く大変嬉しく思った。</p> <p>本日も宜しく願いしたい。</p>
2	前回の議事録の承認
教育長	異議なく承認
3	教育長及び委員の報告
早川委員	<p>教員が一般成人よりも性犯罪の数値が高いという新聞記事を読んだ。学校現場は、性犯罪を起こしやすい環境であることは否定できないと思う。部活動地域移行に伴い、学校内で目が届いていた部分が届かなくなる。性犯罪歴がある人の問題の対処についての記事を読むと、データ等に基づききちんと対処しなければならないと感じる。</p>
教育長	<p>常に子ども達と接する機会の多い職種であることから、一般成人と比べると数値が高くなっていると思う。気を引き締めて教育活動を進めなければならない。また、本年度は文科省から様々な数値や改正事項が届き、それに基づき学校に指導している状況である。部活動地域移行での性犯罪や体罰などの様々な課題があり、慎重にスピード感を持って行わなければならない。浜田委員にも協力をお願いし、進める考えである。新聞や論文などでも情報収集を行う。</p>
4	議事
教育総務課長	<p>(1) 議案第14号 令和5年度 社会教育功労者・優良社会教育関係団体表彰について</p> <p>資料に基づき説明</p>

早川委員	他にも推薦された団体があったのか。
生涯学習課長	他にも推薦された団体はあったが、その中で貢献度や地域活動などは勿論、継続性も加味して選考した。個人は8名で、団体等は5団体の推薦数であった。
教育長	基準を照らし合わせて選考している。今後、市民表彰に結びつく一つのステップにもなっている。
早川委員	継続性が判断の材料の一つになるという説明だったが、年齢を確認すると、若い人や団体が選ばれる余地はあるのか気になった。
教育長	功労者ということで表彰年齢が高くなっている。
早川委員	文化振興部門の読み聞かせグループが特別支援学校や高齢者施設で行っている読み聞かせは、どのような作品を読んでいるのか。
生涯学習課長	対象施設により演目を変えることはないようだ。また、大型紙芝居を独自で製作されており、特別支援学校の生徒さん方にも非常に見やすくわかりやすいもので、聞き手に寄り添った活動をされている経緯がある。
教育長	原案可決とすることに異議はないか。  (異議なしとの発言)
教育長	異議がないので、議案第14号は、原案可決とする。
5	報告
教育総務課長	(1) 教育委員の任命について  資料に基づき説明
教育総務次長	(2) 令和5年12月鹿屋市議会定例会の一般質問について  資料に基づき説明
早川委員	「教育行政について」不登校の原因は様々であるが、その一つに中1ギャップの問題があり、対策として小中一貫教育があるようだが、再編

教育長	<p>の計画もあり、小中一貫教育校を今あるもの以上に増やしていくのか。</p> <p>鹿屋市は、数年前から教育のベースとして全ての中学校区で小中一貫教育を行っている。これはコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を設置した学校がベースになっている。小中一貫教育の取り組みの最初が、施設一体型の花岡学園と、小学校と中学校が別敷地の施設分離型の上小原小中学校をモデル校としてスタートした。</p>
早川委員	<p>学校再編を進めている中で、施設一体型が良いと感じるが、上小原小中学校のような施設分離型の学校を増やすことができるのか。</p>
学校教育課長	<p>施設分離型の上小原小中学校は、校舎を道路1本挟んだ立地で、モデル校として取り組みやすさはあるが、たとえ校舎間の距離があっても授業や学習の進め方や、生徒指導などについて中学校区でギャップが生じないように共通実践事項をしっかりと取り組んでいる。また、学校教育課指導主事が定期的に学校訪問し、小中学校において共通実践事項の進捗状況の確認を、乗り入れ授業等が実施されているか確認し指導も行っている。</p>
早川委員	<p>学校再編をする中で、小学校や中学校同士を統合するだけでなく中学校で使われない教室に小学校を入れて施設一体型の小中一貫校という形にする方法はどうか。</p>
教育総務課長	<p>学校再編について全学校に市の方針を説明しており、35校の8割程度の学校に説明会を実施した。その中で、小中一貫校についての意見もあるが、対象校など具体的には今のところない。しかし、再編の協議が進むにつれてそのようなことも含めて様々な可能性は出てくると思う。</p>
教育長	<p>まずは、全校で説明会を開き保護者や地域の意見交換を本年度に実施し、個別の学校や校区には、その結果を基に協議を深める。教育委員会としては、少子化する中でどのようなスタイルで学校教育を行うのか大きな方針を作った上で、地域と協議を踏まえて具体的に校区の統廃合や存続を進める。世の中の流れは、極小規模校の存続として小中学校一貫校の対策をしているが対策になるのかと疑問の意見もある。一学年が少ない人数の中、9年間過ごしても教育効果の面ではなかなか難しいところがある。また、人数を多くするために学校をまとめれば良いかという、地域の活性化などを含めても、各地域に学校設置の要望</p>

早川委員	<p>が非常に強い。また、生徒数をまとめた場合でも、最近の大きな課題である、スクールバスの運転手不足で送迎が難しいことなどもあり、一筋縄ではいかない。具体的に対応できる方法を検討し方針を作成する。</p> <p>「心の架け橋プロジェクト事業について」不登校対策について読んでみて、最終的に社会的自立を目的としているのか、学校に復帰することを目的としているのか。</p>
学校教育課長	<p>学校復帰もあるが社会的自立を目的としている。子ども達が自分の良さや友達と協力することなどをしっかりと認識した上で、自分自身が学校からまた次の学びの場、次のステップに進んだときに自立できることが一番大きな目標になる。学校以外でも家庭や教育支援センターなどで学びの場を確保することがこの不登校対策に繋がると考える。</p>
教育長	<p>社会的自立を前提で、そのためには学校だけではなく、フリースクール等を認めても良いのではないかという意見があるが、文部科学大臣の諮問機関である中央教育審議会が、義務教育の中核はやはり学校であるべきだと明確にメッセージとして答申した。とはいえ、学べない子ども達がそういう所で社会性の回復や学べることが大事だということ、バランスを取り進めなければならないということが現状である。通学できずに引きこもってしまう状況が、どれだけ家庭にとって辛いことか。一歩でも解決できるように様々なことを取り組む。また、数年前から「構成的グループエンカウンター」というグループづくりや、コミュニケーション能力を高めることを通して、暖かい学級学校づくりに力を入れている。</p>
東別府委員	<p>不登校について、学級編成時に中学校に進学した時が一番、不登校者数が増えることを子ども達の様子を見ていて感じる。小学校の先生が、児童の友達関係も含めてバランスよくクラス分けをしていると聞くが、いざ中学校に進学すると面白くない等の理由で不登校者が増えるのはなぜなのかと疑問に感じる。また、進級するとクラス編成で友達関係も変わり、不登校になる理由になっているようだが、先生はそういった部分も把握してクラス分けをしていると聞くがどうか。</p>
学校教育課長	<p>進学先の中学校から校区内の小学校へ次年度の学級編成の連絡がある。それを受けて、小学校は現6年生の様々な実態を考慮し、指定の学級編成数にクラス分けをする。考慮する実態は、学力や、児童の友達関係、生徒指導上の課題など様々なものがある。基本的には6年生の担任</p>



<p>教育長</p>	<p>が、複数の案をつくり、検討を行う。さらには、養護教諭や専科教諭など6年生の指導にあたった教員も加わる。そして最終的には校長、教頭が確認した上で進めている。</p> <p>友達関係や不登校のことはかなり重要な要素としている。鹿屋市では中1ギャップを少なくするために全ての中学校区で一貫教育の乗り入れをして子ども達を知るようにしているが、現実的にはなかなか難しい面も多い。</p>
<p>早川委員</p>	<p>「かのや地域学校協働活動について」、地域学校協働活動推進員は担当地域の学校運営協議会委員に委嘱すべきだという事は良いが、男女共同参画審議会のアンケートによると、例えば町内会長など地域のリーダーの女性比率が極端に低い。地域で子ども達を育てようという取り組む方向であると思うが、この推進員や運営協議会の担当者のジェンダーバランスは考慮されているのか。また、どのように意識しているのか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>地域学校協働活動推進本部について、地域でそれぞれの視点で活動している保護者や、PTAや子ども会、高齢者クラブやスポーツ団体などで構成される。地域学校協働活動本部では若干男性の方が、活動が多いとはいえ、それほどバランスが欠いているという状況ではないと感じる。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>学校運営協議会の委員は今年度総数が269名であり、男性が206名で女性が63名で男性の割合が多い。</p>
<p>早川委員</p>	<p>町内会長に関しては更に女性比率は低い。そのような状況では意見が偏るのではないか。</p>
<p>東別府委員</p>	<p>現実的に考えるとどうしても家庭の根本は女性という認識であると、家族を含め周りの理解がないとこういう場に出席することは、なかなか難しい。</p>
<p>教育長</p>	<p>実際に、現職時は仕事に一生懸命でそういった事に理解はあっても一緒に協力して出来なかった。女性委員が増えやすい環境が作られることは大事なことである。委員や会議に男女バランスを考えながら計画し、今後も増やす方向で努力して進める。一方、地域学校協働活動の本部については女性の数が思ったより多いが、学校運営協議会は男性</p>

早川委員	<p>が7割を超えている。</p> <p>「教育行政について」小学館世界J文学館については、1冊の本を購入することで電子書籍を読むことができるうえに、読み上げ機能もついていてとても良いシステムだが、学校図書で購入できないのか。使用方法も分かれば知りたい。</p>
生涯学習課長	<p>小学館世界J文学館の本を1冊購入すると、125冊を読める権利が与えられるが、同時に5名以上読めない制限があり、どちらかという和家庭向きだと思う。今は、青い鳥文庫というものを、電子図書館の中に入れている。そして、次年度は図鑑的なものを増やし、市内の小中学生のアクセスが集中してもパンクしないようなシステムを整える計画である。</p>
学校教育課長	<p>(3) 国立台北教育大学からの実習生受入について</p> <p>資料に基づき説明</p>
生涯学習課長	<p>(4) 看護専門学校での防火・避難訓練実施について</p> <p>資料に基づき説明</p>
早川委員	<p>抜き打ち訓練はないのか。</p>
学校教育課長	<p>看護専門学校では実施していない。</p>
遠矢委員	<p>訓練頻度は年1回なのか。</p>
学校教育課長	<p>5月に地震訓練をし、12月に火災訓練を実施した。</p>
早川委員	<p>看護学校生が看護する方の立場で訓練を行うと思うが、学生も被災者であるとともに看護する側にもあるという内容の訓練なのか。それとも避難する訓練のみなのか。</p>
学校教育課長	<p>この避難訓練は、看護専門学校で授業中に発生した場合を想定した避難訓練である。</p> <p>(5) 第8回 キッズビジネスタウン®の実施について</p>

学校教育課長	資料に基づき説明
遠矢委員	参加する店舗が増えることは選択肢が広がり、嬉しいことだと思うが、体験したい職種が偏ることはないのか。
学校教育課長	女子高の情報ビジネス科が中心に企画し、情報ビジネス科の生徒と先生が一緒になって計画を立てている。昨年度人気があった職種や、取り組みたい職種等をふまえ、検討して決める。外部企業等の協力団体が大変ありがたい。
	<b>(6) 令和6年鹿屋市二十歳のつどいの報告について</b>
生涯学習課長	資料に基づき説明
早川委員	会場に入場できることを知らない保護者もいらしたようで、式典を見ることができずに残念がっていた。
生涯学習課長	昨年まではコロナ禍で規制をしていたが、今年は、入場可能のご案内は差し上げていた。今後は案内が伝わるように徹底したい。
東別府委員	来年以降も、式典会場が串良平和アリーナの場合は、保護者も会場に入れるのか。
教育長	串良平和アリーナが会場の場合は、2階席で見学ができ、文化会館の場合は見学できない。ただ、準備をする側は、串良平和アリーナの場合は会場設営をする作業があるが、駐車場が広いなど一長一短である。
	<b>(7) 第76回優良公民館表彰について</b>
生涯学習課長	資料に基づき説明
6	動議の討論
教育長	発言がないので、動議はないものとする。
7	その他

<p>学校教育課長</p>	<p>「おいしいもの選手権マッチング交流会の結果」について</p> <p>資料に基づき説明</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>「文部科学省大臣の鹿屋中学校訪問」について</p> <p>資料に基づき説明</p>
<p>教育長</p>	<p>次回の定例教育委員会は、令和6年2月19日（月）15時00分から教育長室で行う。</p>
<p>8</p>	<p>閉会</p>
<p>教育長</p>	<p>以上をもって1月定例教育委員会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>